

■ペイントでビットマップ印鑑(スタンプ)を作る。

ビットマップ印鑑(スタンプ)を作成すれば、お使いのWordやExcelで作成した文書のどこにでも簡単に『捺印』できます。
ファイルをそのまま閲覧して使っていただくことができ、新たに書式を作る必要がなく承認認証を手軽に素早く行うことができます。



【ご注意】PDFを介さずに書類の閲覧が可能になりますが、セキュリティなどの問題から社外用としては、余りお奨めできません。

なお、ビットマップ画像での捺印となりますので上記のように印影の精度がおちます。

「フォント埋め込み設定」ができないPDF作成ツールでもご利用できます。

【一例】[伝票印刷5\(TB株式会社\)](#)のPDF書き出し機能などに、フォント埋め込み制限がある場合にご利用できます。

取扱いの詳細は、ヘルプの「[社印・スタンプ機能を使う](#)」を参照ください。

★留意点

●「ベクター印鑑」と「ラスタースタンプ」の違いを理解する。

My 電子印鑑

ベクトル印鑑 / スタンプ

■アウトラインデータとして線や面などの図形で表現します。

- ① 印影品質を保持したまま、サイズ変更が自由に設定することが可能。
- ② PDFのセキュリティを付与すれば、コピーやキャプチャーなどによる再現がほとんど不可能です。
- ③ 完全オーダメイド方式のため同じ印鑑は存在しない。
- ④ 印影確認後に最終加工するため安心です。

一般の電子印鑑

ラスタースタンプ

■点(ドット)の集まりで表現します。

- ① ピクセル単位のため、印影品質を保持したままサイズ変更が出来ない。
- ② セキュリティを付与しても、単純データのためキャプチャーにより簡単に同じものが盗用できる。
- ③ 既製品の場合、まったく同じものが存在します。

Acrobat 7.0 の電子印鑑

■既存のフォントを使用。

印鑑事業部
H18.12.13
佐々木

- ① 汎用的なため、誰にでも作成やコピーが可能です。表現がワンパターンでオリジナル性に欠ける。

(信頼性に限界)
電子署名によって信頼性を確保する。

■キャプチャーとは

ディスプレイに表示された画像イメージを取り込み、ファイルへの保存やクリップボードへのコピーなどを可能にする機能のことです。

Windowsの場合、alt+Print Screenで特定のウィンドウを取り込むことができます。「ペイント」ツールを呼び出し、コピーの貼り付けを行えば画像が再現されます。

【作成方法】

※詳しい使い方については、ペイントのヘルプを参照して下さい。

① スタート - すべてのプログラム - アクセサリー - ペイント を選択します。

A テキストをクリック、テキスト枠を作成して、表示から「書式バー」をクリックします。

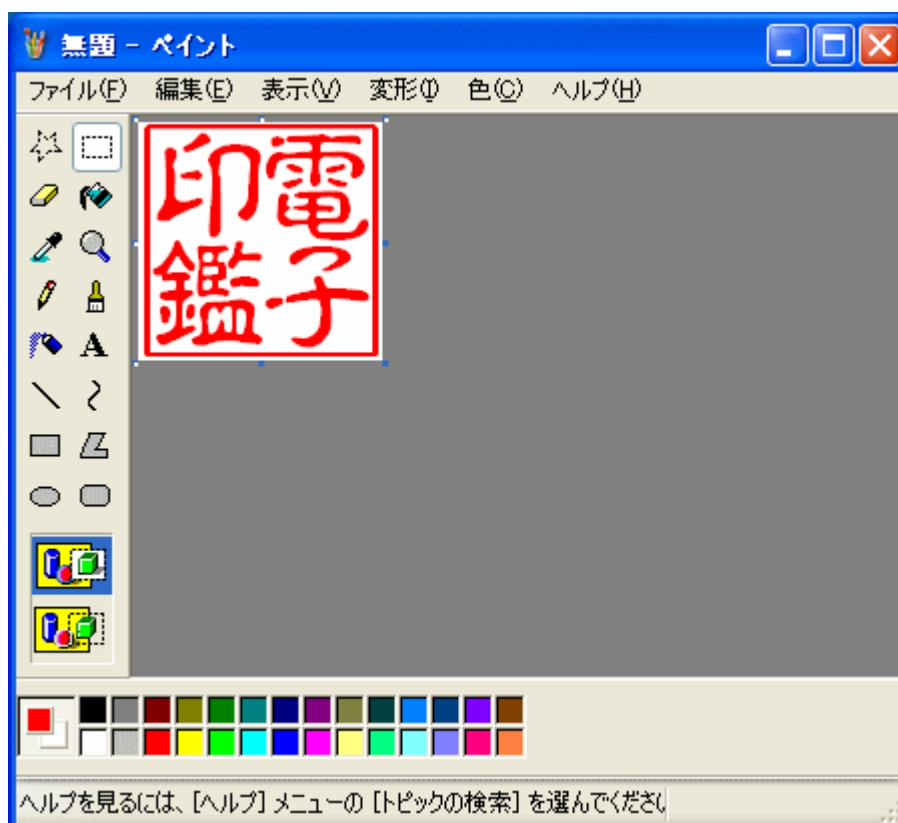


② フォントを「My 電子スタンプ」を選択し、任意の「フォントサイズ」を入力します。

サイズが大きいほど「精細なビットマップ」が作れます。

③ 「登録された文字」を入力。

フォントに色を指定します。



■ その他、キャプチャーによる作成方法もあります。

Windows の場合、alt+Print Screen で特定のウィンドウを取り込むことができます。

「ペイント」ツールを呼び出し、コピーの貼り付け を行えば画像が再現されます。

表示された 印鑑/スタンプ を切り取り、[ファイル - 新規] を選択、貼り付けて下さい。